



感染症週報

令和7年6月9日発行



小笠原での流行状況

第23週（6月2日から6月8日まで）

父島

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、突発性発しんの報告がありました。

母島

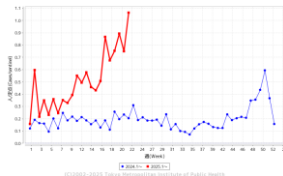
特別な感染症の報告はありませんでした。

東京都全体での流行状況

第22週（5月26日～6月1日）

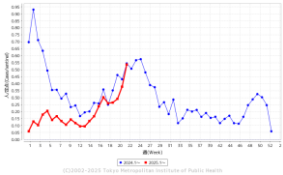
【警報・注意報】

- ・水痘 **注意報基準を超えました**
（定点患者報告数 1.06）

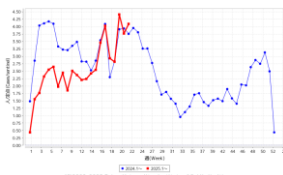


【ピックアップ】

- ・咽頭結膜熱
（定点患者報告数 0.54）



- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
（定点患者報告数 4.09）



感染症メモ

参考、出典：厚生労働省
国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サ

昨年から伝染性紅斑の報告数が増えています。コロナ禍ではマスク着用や手洗いの徹底で伝染性紅斑の流行が抑えられていましたが、これらの対策が緩和されると感染が広がりやすくなります。過去に感染したことがない人が増えたため、集団免疫が低くなり、感染が拡大しやすくなっています。伝染性紅斑は季節性があり、特に春から初夏にかけて流行しやすいため、今年も感染者が増加しています。また、**症状が現れない不顕性感染者が知らないうちに感染を広げることもあります**。普段から手洗いや咳エチケットをしっかりと行って感染拡大を防ぎましょう。

伝染性紅斑（リンゴ病）

伝染性紅斑（でんせんせいこうはん）は、ヒトパルボウイルスB19による感染症で、一般的に「リンゴ病」とも呼ばれます。小児に多く見られる病気です。

妊娠中の女性が感染すると、胎児に影響を及ぼす可能性があるため、特に注意が必要です。

主な症状

潜伏期間は約10～20日、微熱や風邪のような初期症状に続いて両頬に蝶の羽のような赤い発疹が現れ、その後、体や手足に網目状やレース状の発疹が広がります。



感染経路

感染者と直接接触したり、感染者の咳やくしゃみのしぶきを吸い込むことで感染します。発疹が現れる前に微熱や風邪のような症状がみられ、この時期に感染性が最も強くなります。

治療方法

特別な治療法はなく、症状に応じた対症療法が行われます。

予防と対策

ワクチンや特効薬はありません。手洗いや咳エチケットを徹底することが重要です。また、**保育園や学校など周囲で患者が発生した場合、妊娠中あるいは妊娠の可能性のある女性は、感冒様症状の方との接触をできる限り避けるようにしましょう。**



手洗いと咳エチケットで
感染予防しましょう



習慣にしよう！

感染予防の基本は手洗い



東京都島しょ保健所小笠原出張所